

# 原子力長計 市民ウォッチング

民主的・論理的、そして透明な長計策定プロセスをめざして  
グリーン・アクション気付

2004年8月31日

拝啓 残暑の候、みなさまには、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、今回は原発現地、福井県民の声を紹介いたします。ぜひ、以下の声を取り入れてくださるようお願い申し上げます。

福井県民の声 要約（本文を添付しております）

- 策定会議で早期に意見募集を行ってください。
- 反対の声を代表する参考人を策定会議に呼んでください。
- 原発推進・反対の双方の声を徹底的に聞き、それについて徹底的に審議を行う公平・公正な審議を行ってください。
- 老朽原発を止め、これ以上核のゴミを増やさないシナリオを4つのシナリオに追加してください。

また、今回の資料提供は下記の通りです。

——「もんじゅ」再開は福井で幅広く反対または疑問視されています。

それを紹介する新聞記事（日経新聞2003年12月14日付け、福井新聞2003年12月14日付け、毎日新聞2003年12月14日付け）

——電力会社は「プルサーマルは資源の有効利用」などと宣伝しています。

電力会社のプルサーマルの宣伝のウソを暴くチラシです。

市民団体の資料『「プルサーマルで資源の有効利用」はウソでした』

——中川経産大臣のコメント記事（福井新聞2004年8月13日付け）

「事故（美浜3号機）と計画（プルサーマル）切り離せぬ」

職務、ご多忙のこととお察しいたしますが、なにとぞご査収いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬 具

原子力長計市民ウォッチング  
グリーン・アクション気付

## 「新長計・策定会議」の委員のみなさまへ

いったい若狭の住民に何人の「人身御供」をささげさせれば……？

美浜3号機事故の11名の死傷者は、全員、若狭の住民でした。そのうちの6名は、原発や中間貯蔵施設を拒否しつづけた小浜市民でした。事故を起こした根源には、原発の老朽化だけでなく、関連企業や国の体質・体制の腐朽化がありましょう。

過疎・辺境の地に原発や核のコミを押しつけている人々は、いったい何時になったら、飽き足るのでしょうか？（ちなみに、若狭の原発群は最近年、年間900億kw/hを関西方面へ送電していますが、その15基の立地地域の年間電力消費量は約12億kw/hにすぎないのです。）

### 策定会議で早期に意見募集をしてほしい

東京でくり広げられている新長期計画の議論には、上記のような現地住民の肉声や、「社会的公平・公正」の視点がまったくと言っていいほど欠落しています。たとえば福井県の「もんじゅ」に関して言えば、1995年のもんじゅ事故前後に取り組まれた、永久停止を求める県民署名運動では、地元の敦賀市民をはじめ22万人が署名しています。にもかかわらず、策定会議には福井からは「もんじゅ」運転再開を推進する委員しか選ばれていません。福井の住民の声は策定会議ではただしく反映されていないのです。

意見募集を早急に行い、反対の声を代表する参考人を策定会議に呼んでください。

### 公平・公正な審議を望む

名古屋高裁金沢支部で行われた「もんじゅ」に関する高等裁判所の審議では、裁判所は被告・原告双方の弁護士と証人の主張を徹底的に聞き、裁判官からとことん質問を繰り返し、回答を受け、その上で「もんじゅ」に関する判断を下しました。

新長期計画の策定会議も同じように、徹底的に双方の意見を聞き、それについて徹底的に審議を行い、判断を下してください。

## 老朽原発を早く止め、「核のゴミ」を増やさないで！

今、新長計策定会議で論議されている「4つのシナリオ」や「2050年までに中間貯蔵施設が全国で6-11カ所必要」という、その大前提には、2046年までに累計6.6万トンの使用済み核燃料の発生が想定されています。

しかし、

- 既存の52基中1基（敦賀1号）の廃炉しか想定していない
- 50-70年以上の老朽炉が49基（70年以上が11基、60年以上が21基、50年以上が17基）に達する
- 新增設原発の貯蔵プールの容量は40年分を最初から見込んでいる

このような前提を問おうとすらない机上の試算など、若狭の住民には断じて容認できません。どのシナリオも核廃棄物の発生そのものを削減するものではありません。老朽原発を早く止め、「核のゴミ」を増やさないシナリオを審議に加えてください。

昨年夏の東京電力管内の原発停止・停電ないし、今夏の関西電力管内の同様な経験を徹底検証し、省エネ・節電のさらなる具体化を図るなら、実現可能なシナリオとなりましょう。

中島哲演

原発設置反対小浜市民の会

原発反対福井県民会議 常任理事